

## 第4章 重点施策

「第3章 施策の展開」では、本市が目指す環境像を実現するための市・市民・事業者の取組を示しましたが、本市の地域特性を踏まえ、更に重要な事項について施策の展開を進めていくことにします。

### 1. 本城川の水環境の保全

「本城川」をモデルとし、水質の保全に取組み、河川や海と暮らしとの係わりを見直します。



### 2. 環境教育・学習の推進

地域と学校が協働して環境教育・学習の機会を創出し、市と環境の係わりを豊かにすることを通して、目指す環境像を実現させます。



## 重点施策1 本城川の水環境の保全

本市第5次総合計画では、次代に引き継ぐ「垂水らしさ」、次代へつくる「垂水らしさ」のひとつとして“水”を掲げており、水を大切にしていこうという思いがあります。

本市は、海岸線沿いに多くの泉源が集まっており、豊富に産する温泉を利用した『飲む温泉水』の製造販売が盛んで、本市のアピールポイントの一つになっています。また、鹿児島湾にそそぐ本城川は、本市最大の河川で、その水質の良さは県本土随一です。しかし近年、一部の支流河川の水質が悪化するなどの課題も見られます。

かつて、本城川の河原では、本市で最も古くから行われている祭りの白山神社の『おんだんこ祭り』が執り行われており（現在は、水之上地区の三和センターで行われています。）、市民と本城川は古くから係わりを持ってきました。

本城川を含めた本市を流れる河川の水質保全には、高隈山系の持つ水源かん養機能を保つこと、更には、家庭、事業場等から河川に流入する排水は適正に処理した後に排出することが重要なことで、市民一人ひとりの心掛けが大切です。本城川では、県から認定を受けた「みんなの水辺サポーター」の『本城川友好会』が草刈りや空き缶拾いなどの奉仕作業を初め、様々な活動を行っており、本城川の保全に努めています。

水は、雨や地下水、川、海などの形態で循環しており、循環の過程の中に入った人間の生活活動によって汚染されることもあります。高隈山系に蓄えられた水がきれいなまま太平洋にたどり着くには、管理の行き届いていない山林、家庭及び事業場からの排水が流れ込む本城川、養殖が盛んな鹿児島湾をくぐり抜けなければなりません。さらに、化学肥料を使用した田畑からの水は地下に浸透することもあります。

これらの社会活動は不可欠なことでありますが、後世のためにも市・市民・事業者が三者一体となって水質保全に取り組んでいかなければなりません。本城川を通して環境を学び、山林の管理、生活排水の適正な処理、環境に配慮した事業活動を行い、上流から下流まで水清く美しい、水辺で人々が賑わう場となる本城川を目指していくこととします。



本城川堤防草払いの様子

写真 垂水市

### 水循環の模式図

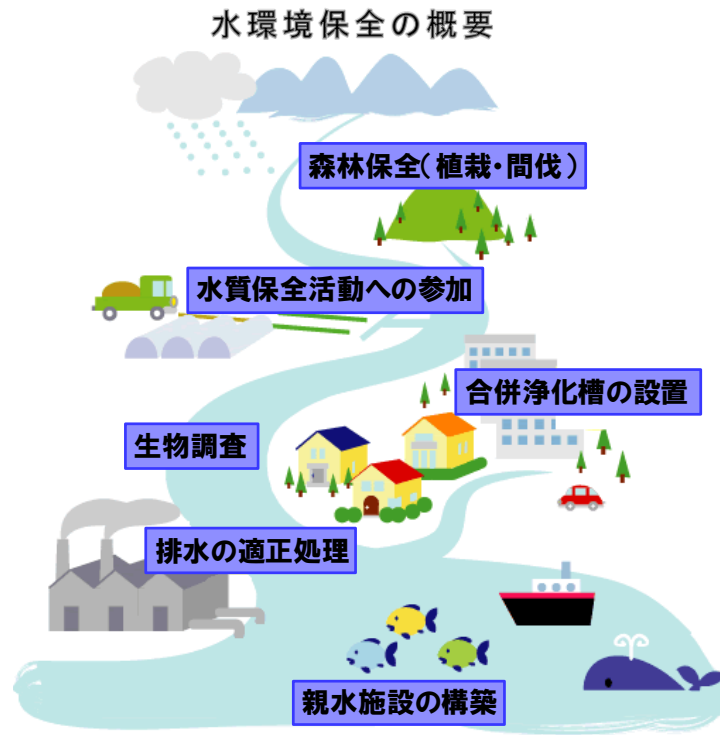


資料 平成25年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

本城川の水環境の保全の取組として、市・市民・事業者のそれぞれの役割を以下に示します。

#### 【本城川の水環境の保全】

主体	流域	役割分担の内容
市	上流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県森林整備地域活動支援事業交付金等を利用して、高隈山系の山林の整備に努めます。</li> <li>● 植栽・間伐など森林の維持管理に対する支援を行います。</li> <li>● 松くい虫等の被害が出ないように監視に努めます。</li> <li>● おおすみ自然林養林保護管理協議会と連携して涵養地としての山林を保護します。</li> <li>● 工場・事業場からの排水については、排出水の改善や対策を指導・啓発します。</li> </ul>
	中流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三者協働の取組に関する仕組みを構築します。</li> <li>● 合併処理浄化槽の設置数の向上を目指します。</li> <li>● 工場・事業場に排水対策についての啓発を行います。</li> </ul>
	下流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの不法投棄防止の指導・啓発を行います。</li> </ul>
市民	上流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植栽・間伐など森林の保全に協力します。</li> <li>● 家庭排水は適正に処理した後排出します。</li> <li>● 上流域の施設等を利用した際は、「来た時よりも美しく。」を実行します。</li> </ul>
	中流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 合併処理浄化槽の設置を行います。</li> <li>● 家庭排水は適正に処理した後排出します。</li> <li>● 水質保全活動へ積極的に参加し、河川の修景保全に努めます。</li> </ul>
	下流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本城川河口域での鳥類調査や本城川の生物調査をボランティア活動で行います。</li> </ul>
事業者	上流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植栽・間伐など森林の保全に協力します。</li> <li>● 上流域の施設等を利用した際は、「来た時よりも美しく。」を実行します。</li> <li>● 事業場排水は適正に処理した後排出します。</li> </ul>
	中流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水質保全活動へ積極的に参加し、地域とのつながりを深めます。</li> <li>● 事業場排水は適正に処理した後排出します。</li> <li>● 農地からの排水は、本城川への負荷が軽減するよう努めます。</li> </ul>
	下流	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県河川・海岸愛護運動に協力します。</li> <li>● 事業場排水は適正に処理した後排出します。</li> </ul>



【本城川の沿革】

水源	流域及び流末地	流路延長(km)	流域面積(km <sup>2</sup> )
垂水市高隈山	垂水市	15	51

資料 鹿児島県統計年鑑



本城川上流（猿ヶ城溪谷）



本城川河口付近



本城川かわまつり

写真 垂水市

## 重点施策2 環境教育・学習の推進

『基本方針 5 基本施策 1』で述べたように、本市の東部には、市、鹿児島大学（演習林を含む）、地域（大野地区）の三者の協力の下運営される大野ESD自然学校があり、環境教育・ESDプログラムを通じて、大学生・児童生徒・地域住民及び一般市民が互いに学び合っています。地域振興計画の中でも、現在の自然学校の地域との連携をさらに深め、今後も運営を継続していくことを望んでおり、本市の環境教育の重要な拠点となっています。

また、「基本方針6」で紹介されている地域振興計画には、各々の地区が大切にしたい環境や今後改善したいことなどがたくさん盛り込まれています。それらの目標を実現していくためには、地域の中で話し合いを重ね、住民が地域の環境について一層理解を深めていくことが大切です。地域振興計画に取り組むために、地区内外の方と一緒に学習を進めることは、環境教育・学習の推進につながります。

その他、重点施策 1 の本城川を環境教育に取り入れることも検討します。本城川の水環境の保全を通して、水源地である高隈山のことを学び、上流域の猿ヶ城溪谷や中流域及び河口付近で魚や鳥などの生物調査を行うことを取り入れます。さらに、家庭や事業所からの排水をいかにきれいにして本城川に流すかも環境教育の一環です。これら環境教育は、NPO 法人などの団体を通して行っています。本市には、地域振興会や公民館にその道のプロといえる人たちがたくさんいます。本市に根付いている環境に対する深い知識と想いを後世に伝えることにより、「豊かな自然に恵まれ、環境負荷の少ない持続的発展が可能なまち、垂水」が継続されます。

環境教育・学習の推進の取組として、市・市民・事業者のそれぞれの役割を以下に示します。

### 【環境教育・学習の推進】

主体	役割分担の内容
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境教育を実施している団体等と連携し、環境教育活動を支援します。</li> <li>●地域振興会や公民館と連携して環境学習の場を広げます。</li> <li>●鹿児島湾奥地域生活排水対策協議会が過年に取り組んだ干潟観察会・水質調査体験セミナー・環境研修会を継続して行います。</li> <li>●小学生が、在校中に大野ESD自然学校で体験学習することを継続していきます。</li> <li>●大野ESD自然学校スタッフの育成に努めます。</li> <li>●大野ESD自然学校の市外への広報活動に努めます。</li> <li>●「垂水市環境教育方針」の策定に努めます。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境保全の重要性を認識し、環境に配慮した行動を心掛けます。</li> <li>●地域振興計画に掲げられた環境活動に積極的に参加します。</li> <li>●環境教育の場に積極的に参加します。</li> <li>●環境に関する知識を環境教育の場で積極的に披露します。</li> <li>●民泊型教育旅行生の受け入れを積極的に行います。</li> <li>●地域振興会でマイバッグ持参・食品ロスなどの調査を計画し、参加します。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業における環境保全・環境配慮の取組を理解し、従業員に認知させます。</li> <li>●環境教育の場に積極的に参加します。</li> <li>●事業活動で得た環境に関する知識を環境教育の場で積極的に披露します。</li> <li>●施設見学や、農林水産業体験の受け入れを積極的に行います。</li> </ul>



民泊型教育旅行生の様子（漁業体験）



民泊型教育旅行生の様子（農業体験）



地域環境教育の様子（高隈山、田畑）

写真 垂水市